

地方私立大学における学生の学習行動と学習意識

有本 章（比治山大学）

山田 浩之（広島大学）

長谷川 祐介（比治山大学）

○西本 佳代（香川大学）

○藤本 佳奈（広島大学大学院）

1 研究の目的

現在、少子化に伴い約半数の私立大学で定員割れが起きている（日本私立学校振興・共済事業団，2008）。特に「都市部」よりも「地方」の大学でその傾向が顕著であり、地方私立大学は、大学の生き残り競争の中で非常に厳しい状況に立たされている。

そのため地方私立大学では入学者を確保すべく様々な対策を講じている。中でも、学習や就職支援に力を入れている大学は多い。

このような状況下において、支援を受ける側の学生は、大学が提供する支援をどのように捉えているのだろうか。本報告では、地方私立大学に通う学生が、①大学が行う学習支援に対してどのような意識を持っているのか、学習行動・意識との関連から明らかにするとともに、②職業・就職支援に対する意識の特徴や学習意識・行動との関係について検討することを目的とする。

2 分析データ

2008 年に中国、四国、九州、関西地方の 11 大学（私立大学 6 校、国立大学 4 校、公立大学

表 1 分析対象者の属性

性別	男	女					
(3658)	45.0	55.0					
学年	1 年	2 年	3 年	4 年	その他		
(3662)	32.3	34.5	24.4	8.5	0.3		
選考	人文	社会	理学	工学	農学		
	25.1	17.3	7.4	1.5	3.7		
(3649)	保健	家政	教育	芸術	その他		
	0.5	6.6	31.8	5.7	0.5		

数値は特に指定がない限り％とする。括弧内の数値は各項目の有効回答数を示す。

表 2 対象校

設置者	私立					国立				
(3695)	56.5					43.5				
大学	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
(3,695)	730	151	397	511	498	300	143	854	111	

各大学の数値は有効回答者数を示す

1 校) の学生 4,363 名を対象に「大学生の学習経験・生活に関する調査」を行った。本稿の分析では、サンプル数の少ない 2 校（私立 1 校、公立 1 校）、及び、A 大学の短期大学部の学生を除いた 3,695 名分の調査データを用いる。

3 学習支援に対する意識

(1) 分析の視点と方法

本報告では、まず、地方私立大学に通う大学生が、学習支援に対してどのような意識を持っているのか、学生の学習行動・意識との関係から検討する。

近年、18 歳人口の減少を背景に、あらゆる大学において、定員確保のための大学改革が行われている。それらの改革の中でも、大きな比重を占めているのは、従来、学生の「本分」とされてきた、学習に対する支援といえるだろう。例えば、高校からのスムーズな移行を成立させるための補習教育、初年次教育、就職支援に特化しないキャリア教育など、大学での学びをより充実させることをめざした改革が様々な領域で実施されている。

こうした学習支援の盛り上がりと並行して、大学生の学習行動や意識に関する研究も、近年蓄積されつつある（武内編 2007、大阪大学大学院人間科学研究科教育技術開発学研究室編 2004 など）。これらの研究においては、大学生の「まじめ化」、「生徒化」など、近年、大学生が勉強志向を強めていることが指摘されている。しかしながら、藤井・山田編（2005）も問題点として挙げるように、これらの調査では「大学や大学生の多様性があまり考慮されていない」

(6 頁)。つまり、個々の大学の特質を考慮した上で、大学生の学習に対する行動、意識および学習支援へのニーズが十分に検討されているとは言いがたい状態である。

だが、個々の大学の特質を考慮した上での検討は今後ますます重要な課題となるだろう。特に、定員割れが指摘される地方私立大学においては、大学生の学習実態及び学生のニーズを十分に考慮した上で、学習支援が行われることが、授業を成立させることはもとより、学生の学習への動機づけを行い、学生を卒業へ導くためにも求められるからである。そこで、本報告においては、他大学との比較を通して、地方私立大学における大学生の学習支援に対する意識、及び学生の学習行動・意識を検討することとする。

(2) 分析結果

本報告では、地方私立大学に通う大学生の学習支援に対する意識を分析するが、ここでは、まず、大学生の学習支援に対する意識とはどのようなものなのか、分析対象とした地方大学全体の結果(表 3-1、表 3-2)から、調査結果の概要を示したい。なお、国立、私立等大学別の分析については、当日配布する資料に譲ることとする。

表 3-1 は、「資格取得のための支援」「奨学金の充実」など、在学している大学に対して求めることを聞いた結果である。ここからは、学習に関する支援の中でも特に、「自分の関心のある専門分野が学べる授業やカリキュラム」「自分の教養を広めることができる授業やカリキュラム」といったカリキュラムに関する内容や、「就職活動のための支援」へのニーズが高いことが分かる。それらの項目は、「とても求めている」「ある程度求めている」を合わせるといずれも 9 割以上の学生が該当している。他方、比較的ニーズの低い支援内容としては、「補習など学習のための支援」や「奨学金の充実」が挙げられる。

では、これらの項目について学生は満足しているのだろうか。表 3-2 は、同様の項目につい

てどの程度満足しているかを聞いた結果である。この結果からは、学習に関する支援の中でも特に、「自分の関心のある専門分野が学べる授業やカリキュラム」「自分の教養を広めることができる授業やカリキュラム」といったカリキュラムに関する内容や、「奨学金の充実」、「大学の図書館の充実」といった項目への満足度が高いことが分かる。「とても満足」、「やや満足」を合わせると、いずれも 6 割以上の学生が該当している。他方、比較的満足度の低い支援内容としては、「資格取得のための支援」「就職活動のための支援」「学内の学習施設・設備の充実」が挙げられる。

当日の発表では、これらの項目について、地方私立大学に焦点を絞った場合、どのような特徴がみられるのか明らかにし、その背景として、学生のどのような学習意識・行動が影響をしているのか検討する。

4 職業・就職支援に対する意識

(1) 分析の視点

近年の経済不況や就職状況の悪化により、大学生の就職や職業への関心は高い。大学も学生の声に応えるべく、キャリア教育や就職支援・指導に力を入れ始めている。

谷内(2005)によると、「大学にとって就職指導とは、単に学生個人の就職活動を支援するだけではなく、学生の就職率や就職内容(内定先の程度)が大学の評価にもつながるために、入試(入り口)、教育内容や学生生活と同様に、大学にとってはきわめて重要な要素となっている。」(106 頁)という。少子化による入学者の減少を背景として、地方私立大学でも、就職率向上のために学生の就職支援に力を入れている大学は多い。

こうした、大学の就職支援やキャリア教育についての調査研究は、就職環境の変化や大卒フリーター・無業者の問題から近年盛んに実施されている。(例えば、谷内 2005、小杉編 2007、永野 2004 など)しかし、それらは、支援の実

態や、大学の選抜性による差異が分析の中心であり、「地方」の大学に焦点化したものではない。

そこで、本報告では、地方私立大学に焦点を当て、学生の就職・職業支援に対する意識を明らかにするとともに、学習意識・行動との関連についても分析を行う。

(2) 分析結果

今回用いた調査では、学生の就職・職業について集中的に聞いた質問群は無い。分析では、大学生活で身につけたい知識・技能や教員・大学に求める支援と満足度、といった質問群から就職・職業に関する質問を採用した。

ここではまず、就職・職業以外の項目にも着目しながら、調査対象となった大学生の就職・職業意識の特徴を概観する。

①卒業後の仕事への強い関心

表 4-1 では、大学生活で身につけたい知識・技能・態度について聞いている。その中でも「卒業後の仕事で役立つ知識・技能」を「ぜひ身につけたい」と答えている学生が 77.5%と最も多く、卒業後の仕事への関心の高さを伺うことができる。しかし、「卒業後の仕事で役立つ知識・技能」が実際に身につけているかという点、そうではない。「とても身につけている」と答えた学生は、2.5%に過ぎず「ある程度身につけている」と併せても 25%に満たない。

卒業後の仕事への関心は高いが、それに係る知識や技能が身につけていると感じている学生は少なく、現実とのギャップは大きい。

②大学・教員に求める支援と現実のギャップ

表 3-1 は大学に求める支援を聞いた結果である。約 6 割の学生が、就職活動のための支援を「とても求めている」と回答している。この項目は、専門分野や教養といった学習に係るものを抑えて最も高い比率を示しており、大学生の就職に対する関心の高さを表しているといえよう。また、「資格取得のための支援」も就職活動ほどではないが 51%とこちらも高い数値を示していた。

就職活動の支援と資格取得の支援との相関は

高く（相関係数 0.636）、就職活動の支援を求めている学生は同じく資格取得の支援も求めているのである。また、「企業が採用を決定する際、影響を与えていると思うもの」を聞いた質問では、7 割以上の学生が「資格」を選択するという結果であった（表未記載）。

このように、大学生は学習の結果としての資格ではなく、就職のための資格を重視しているといえる。そのため大学にも就職のための資格を求める声が高いといえよう。

しかし、就職に係る支援への要望は高いが、表 3-2 で示しているように就職活動も資格取得に係る支援への満足度はともに 10%未満と低い。学生の要望と現実の支援には大きなギャップがあることが分かる。

表 4-2 では求める教員像について聞いている。就職支援をする教員を「とても求めている」学生は半数以上いる反面、「とても多い」と感じている学生は 10%程度と、約 4 割の学生は期待と現実にギャップを感じている。

(3) まとめ

以上、得られた知見をまとめると、地方の大学生は、1)就職や進路への関心は高く、大学生活を通じてそれらに係る知識・技能を身につけたいと考えている。2)それゆえ、就職や資格取得などの支援を大学や教員に求める学生は多い。3)しかし、実際の支援への満足度はそれほど高くなく、大学生の要望と大学が提供する支援との間にギャップ大きいことが分かった。

ではこうした傾向は、地方の私立大学でも同様だろうか。当日の発表では、設置者別や各大学による違い、及び、学習意識・行動との関連結果について提示したい。

<参考文献>

- 大阪大学・大学院人間科学研究科 教育技術開発学研究室編、2004、『大学生にとって、いま「大学」とは?』。
- 小杉礼子編、2007、『大学生の就職とキャリアー「普通」の就活・個別の支援』勁草書房。

永野仁編、2004、『大学生の就職と採用—学生 1,143 名、企業 658 社、若手社員 211 名、244 大学の
実証分析』中央経済社。

研究代表者 武内清、2007、『現代大学生の生活と文
化』（平成 16～18 年度文部科学省研究補助金
研究成果・最終報告書）。

藤井泰・山田浩之編『地方都市における学生文化の
形成過程』（松山大学地域研究センター叢書

第 3 巻）2005 年。

谷内篤博、2005、『大学生の職業意識とキャリア教育』
勁草書房。

日本私立学校振興・共済事業団私学経営情報センタ
ー、2008、『平成20（2008）年度私立大学・短
期大学等入学志願動向』

<[http://www.shigaku.go.jp/shigandoukou20.p
df](http://www.shigaku.go.jp/shigandoukou20.pdf)>（最終アクセス2009年7月30日）。

表3-1 在学している大学に求めていること

	とても求めて いる	ある程度求め ている	あまり求めて いない	まったく求め ていない	合計
自分の関心のある専門分野が学べる授業やカリキュラム	54.5	39.4	5.1	1.1	100.0 (3633)
自分の教養を広めることができる授業やカリキュラム	47.4	44.6	6.8	1.2	100.0 (3634)
資格取得のための支援	51.0	36.8	10.2	1.9	100.0 (3631)
就職活動のための支援	59.5	31.6	7.2	1.7	100.0 (3630)
補習など学習のための支援	18.4	41.1	35.0	5.5	100.0 (3623)
学内の学習施設・設備の充実	49.4	40.1	9.0	1.5	100.0 (3624)
奨学金の充実	35.6	33.3	21.3	9.8	100.0 (3624)
大学の図書館の充実	47.2	37.9	12.5	2.4	100.0 (3624)

表3-2 在学している大学についての満足度

	とても満足	やや満足	やや不満	とても不満	合計
自分の関心のある専門分野が学べる授業やカリキュラム	9.1	58.0	29.0	3.9	100.0 (3565)
自分の教養を広めることができる授業やカリキュラム	7.1	56.8	31.9	4.2	100.0 (3559)
資格取得のための支援	8.6	48.3	36.1	7.0	100.0 (3547)
就職活動のための支援	7.8	50.0	35.3	7.0	100.0 (3534)
補習など学習のための支援	5.8	53.5	34.9	5.8	100.0 (3531)
学内の学習施設・設備の充実	9.4	44.2	34.3	12.1	100.0 (3555)
奨学金の充実	13.9	55.1	24.7	6.3	100.0 (3535)
大学の図書館の充実	17.1	49.9	25.5	7.5	100.0 (3554)

表4-1 大学生で身につけたい知識・技能・態度

	希望				どの程度身につけているか				
	ぜひ身 につけ たい	身に付 けたい	特に思 わない	合計	とても	ある程 度	あまり	まった く	合計
文章を読んで理解する力	63.4	32.8	3.7	100.0 (3641)	4.3	46.4	44.1	5.1	100.0 (3591)
文章で事実や自分の考えを説明する力	74.2	23.8	2.0	100.0 (3639)	3.5	32.3	55.8	8.4	100.0 (3589)
プレゼンテーションの能力	71.2	25.4	3.4	100.0 (3639)	3.5	20.7	58.7	17.2	100.0 (3587)
数理的な処理能力	39.0	42.3	18.7	100.0 (3639)	2.6	18.5	48.4	30.5	100.0 (3587)
論理的な思考力	56.8	36.9	6.3	100.0 (3634)	3.6	27.2	54.1	15.0	100.0 (3580)
幅広い知識	75.0	23.0	2.0	100.0 (3635)	2.6	23.8	61.1	12.5	100.0 (3569)
自分の将来の方向を考えること	67.9	28.6	3.5	100.0 (3636)	9.4	39.0	41.8	9.8	100.0 (3576)
外国語のコミュニケーション能力	48.8	36.0	15.2	100.0 (3637)	1.9	15.6	48.2	34.3	100.0 (3578)
社会常識	72.5	24.9	2.6	100.0 (3637)	6.8	50.5	36.7	6.0	100.0 (3578)
自分に自信を持つこと	64.0	29.7	6.3	100.0 (3637)	7.1	27.6	48.6	16.6	100.0 (3577)
他者に対する寛容性	59.0	36.4	4.6	100.0 (3637)	9.5	46.0	38.5	6.0	100.0 (3579)
倫理観を養うこと	44.4	47.0	8.6	100.0 (3636)	5.4	37.4	47.8	9.4	100.0 (3579)
自分の大学に対する所属意識	20.9	40.5	38.6	100.0 (3629)	5.8	29.7	46.1	18.4	100.0 (3577)
自分の専門分野に関する知識・技能	68.8	27.2	4.0	100.0 (3639)	2.7	29.6	56.2	11.5	100.0 (3585)
卒業後の仕事で役立つ知識・技能	77.5	19.8	2.6	100.0 (3640)	2.5	21.8	61.8	13.9	100.0 (3586)
卒業後の私生活や趣味で役立つ知識・技能	57.8	35.0	7.2	100.0 (3639)	4.6	30.8	53.6	10.9	100.0 (3583)

表4-2 求める教員像

	どの程度求めているか					どの程度いると思うか				
	とても	ある程 度	あまり	全くない	合計	とても 多い	やや多 い	やや少 ない	とても 少ない	合計
高度な研究能力をもつ教員	26.1	55.8	15.8	2.3	100.0 (3640)	15.1	54.1	26.8	4.1	100.0 (3463)
専門分野の幅広い知識をもつ教員	44.0	47.9	6.7	1.3	100.0 (3630)	22.6	53.6	20.5	3.2	100.0 (3458)
専門を超えた幅広い知識・教養をもつ教員	35.4	49.5	13.4	1.7	100.0 (3617)	11.4	45.5	37.0	6.1	100.0 (3436)
わかりやすい授業を行う教員	75.2	21.1	3.0	0.8	100.0 (3633)	7.6	26.9	51.2	14.3	100.0 (3457)
学生の意欲を引き出す教員	67.3	25.6	5.8	1.3	100.0 (3611)	6.6	21.7	52.7	18.9	100.0 (3431)
コンピュータなど情報機器を扱うことができる教員	19.0	49.2	28.2	3.7	100.0 (3636)	11.6	49.4	34.8	4.3	100.0 (3453)
外国語のコミュニケーション能力をもつ教員	20.3	38.8	33.8	7.1	100.0 (3635)	11.2	41.0	40.9	6.9	100.0 (3455)
学生の立場になって考える教員	59.6	31.7	7.3	1.4	100.0 (3640)	7.3	31.0	48.8	13.0	100.0 (3457)
授業以外の場で学生とコミュニケーションを行う教員	33.5	42.1	20.8	3.7	100.0 (3638)	7.6	31.2	45.8	15.5	100.0 (3454)
社会常識を身につけている教員	59.8	32.6	6.2	1.4	100.0 (3640)	16.0	52.9	25.9	5.2	100.0 (3452)
倫理観を身につけている教員	34.6	43.6	19.1	2.7	100.0 (3638)	9.5	50.3	35.7	4.6	100.0 (3446)
学生の就職支援をする教員	52.6	36.5	9.2	1.8	100.0 (3637)	10.7	39.9	40.0	9.4	100.0 (3451)